



青森農研フラッシュ

研究成果

(地独) 青森県産業技術センター・農林部門

衛星画像から作成した土壤腐植マップの特徴

－人工衛星から水田土壤の肥沃度を判定します－

農林総合研究所

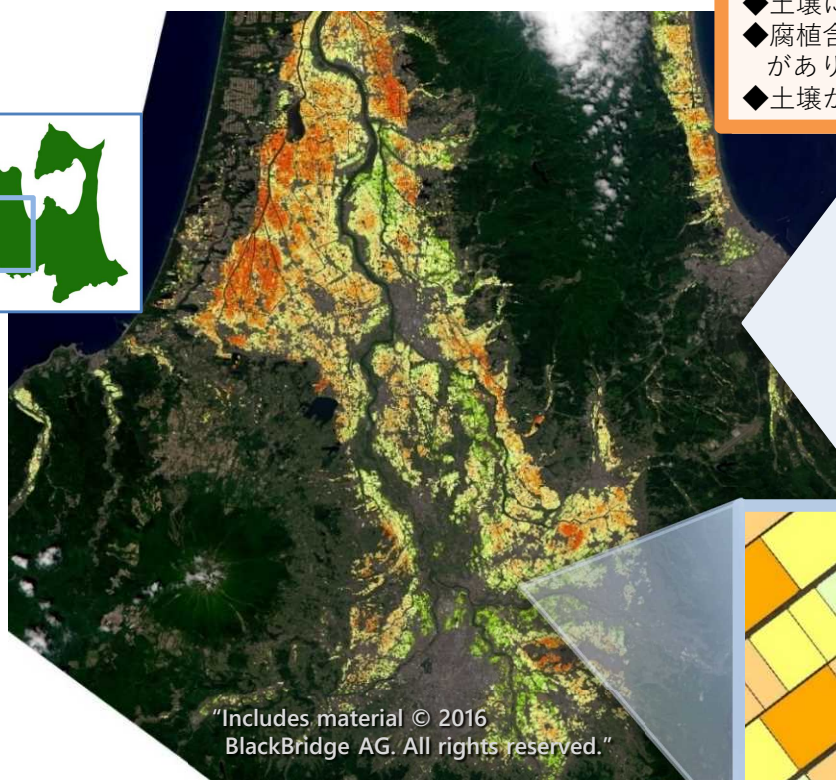
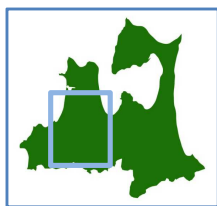
青森県のブランド米「青天の霹靂」は、食味に影響する玄米タンパク質含有率に出荷基準が設けられています。基準を満たす高品質な米を生産するためには、**地力に応じた施肥管理が必要**となります。圃場ごとの管理に役立ててもらうことを目指して、土壤の窒素肥沃度の目安となる**土壤腐植含量を衛星画像から判定**し、これを**地図化**した「土壤腐植マップ」を作成しました。

土壤腐植マップの特徴

- ◆ 田植直後の衛星画像から、土壤の色をもとに**腐植含量**を判定
- ◆ 津軽地域の水田約12万筆を一度に**地図化**
- ◆ **圃場1筆**（区画）ごとの土壤腐植含量がわかる

腐植とは

- ◆ 土壤に含まれる**有機物**のこと。
- ◆ 腐植含量は、土壤から供給される窒素量と関係があり、**窒素肥沃度の目安**となる。
- ◆ 土壤が**黒色に近いほど腐植含量が高い**。



"Includes material © 2016 BlackBridge AG. All rights reserved."

現在は、「青天の霹靂」生産場面で活用されています。作付地域を含むJA及び地域県民局農業普及振興室において、水土里情報システム※で利用することができます。

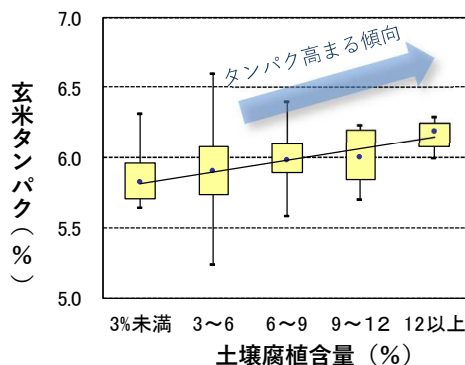
※ 水土里ネット青森が運用



技術の活用

- ◆ 圃場の腐植含量が高いほど、玄米タンパク質含有率が高まる傾向がみられた。
- ◆ 特に、腐植含量が8%以上の圃場ではその傾向が強く、施肥設計に注意が必要。

作付圃場・品種の選定や、施肥設計の参考として活用できる。



お問い合わせ

農林総合研究所 生産環境部 (Tel 0172-52-4391)

あおもりの未来、
技術でサポート

